

IHE-J 2012 ベンダーワークショップ

RAD Domain Session

(1) RAD SWFの紹介

(2) 日本版拡張の話

(3) 審査基準の話

2012.05.25

日本IHE協会 接続性検証委員会

吉村 仁



HL7系の基本 Profile について

- SWF Scheduled Work Flow

- 画像診断部門における業務フロー
- 画像診断部門間で標準化され、業務管理できる

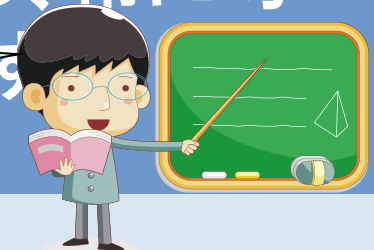
画像診断のワークフロー

- PIR Patient Information Reconciliation

- 患者基本情報について、各システム間の情報の整合性確保
- 患者基本情報システム間同期を通じ、常に均

患者情報の整合

PIR は現在審査していません。
ITI PAM での確認を行なってます。

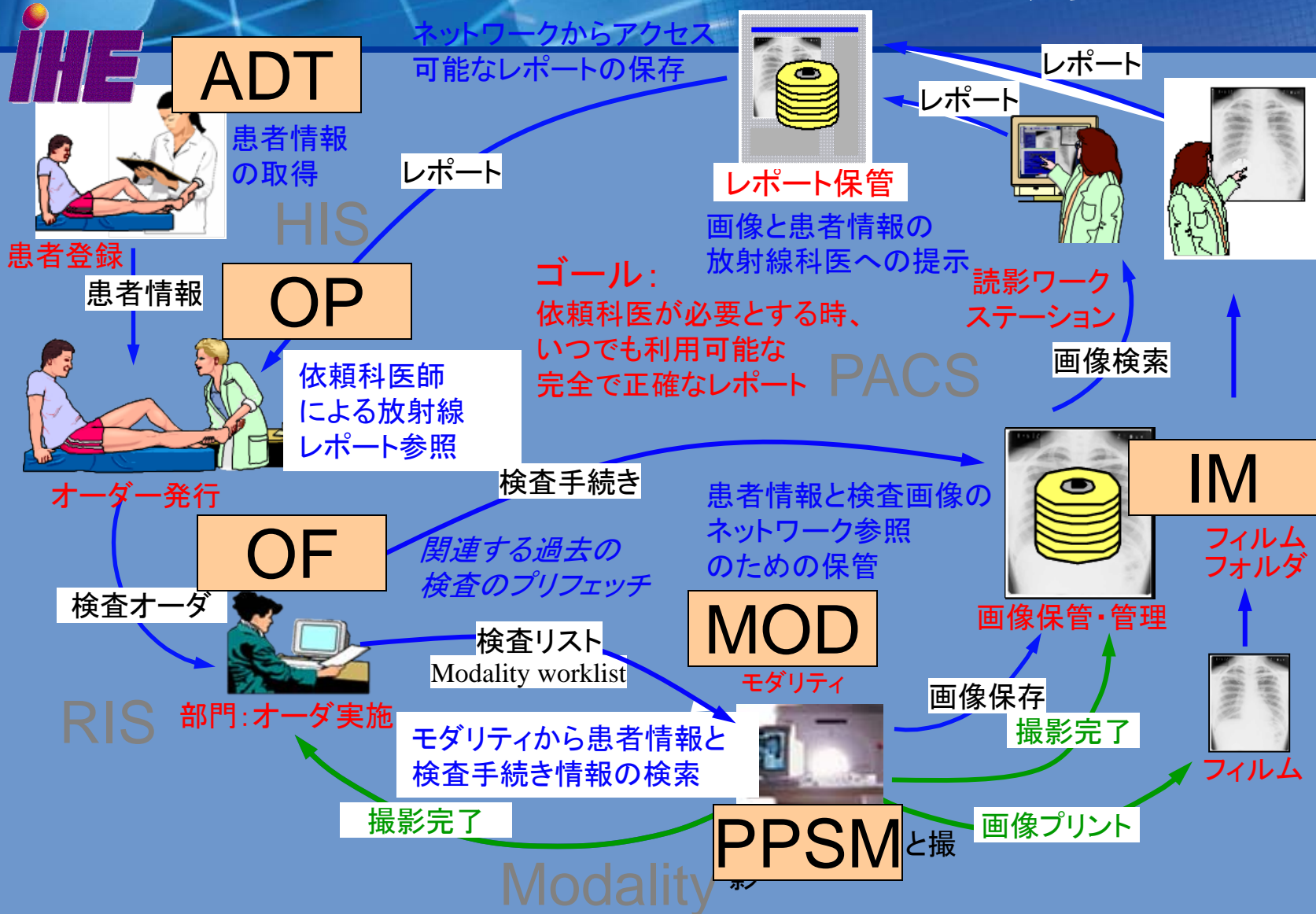


SWF プロファイルについて

まずは **SWF** の話です。



SWF アクタ概要



アクタ概要1: ADTとOP

【注意！】

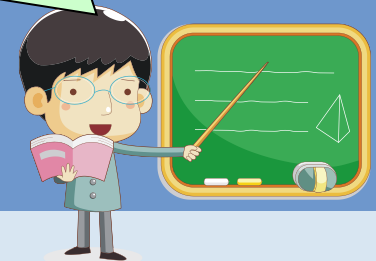
**アクタはシステムの一機能を示します。
≠ システムそのものではありません。**

すなわち・・・

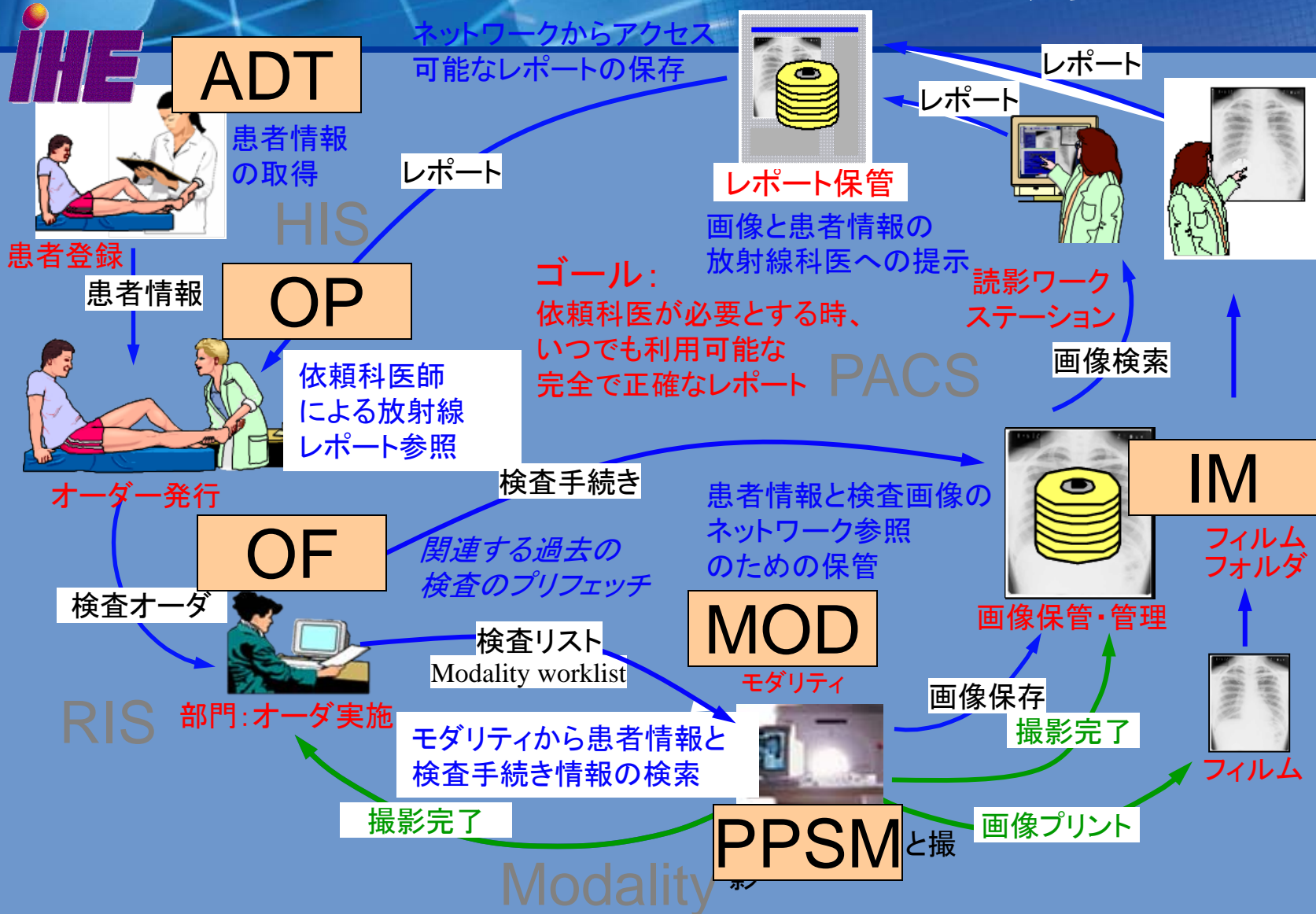
~~OP=HIS~~ではなく、

OP=オーダを管理する機能 になります。

理する



SWF アクタ概要



アクタ概要2: OFとMOD

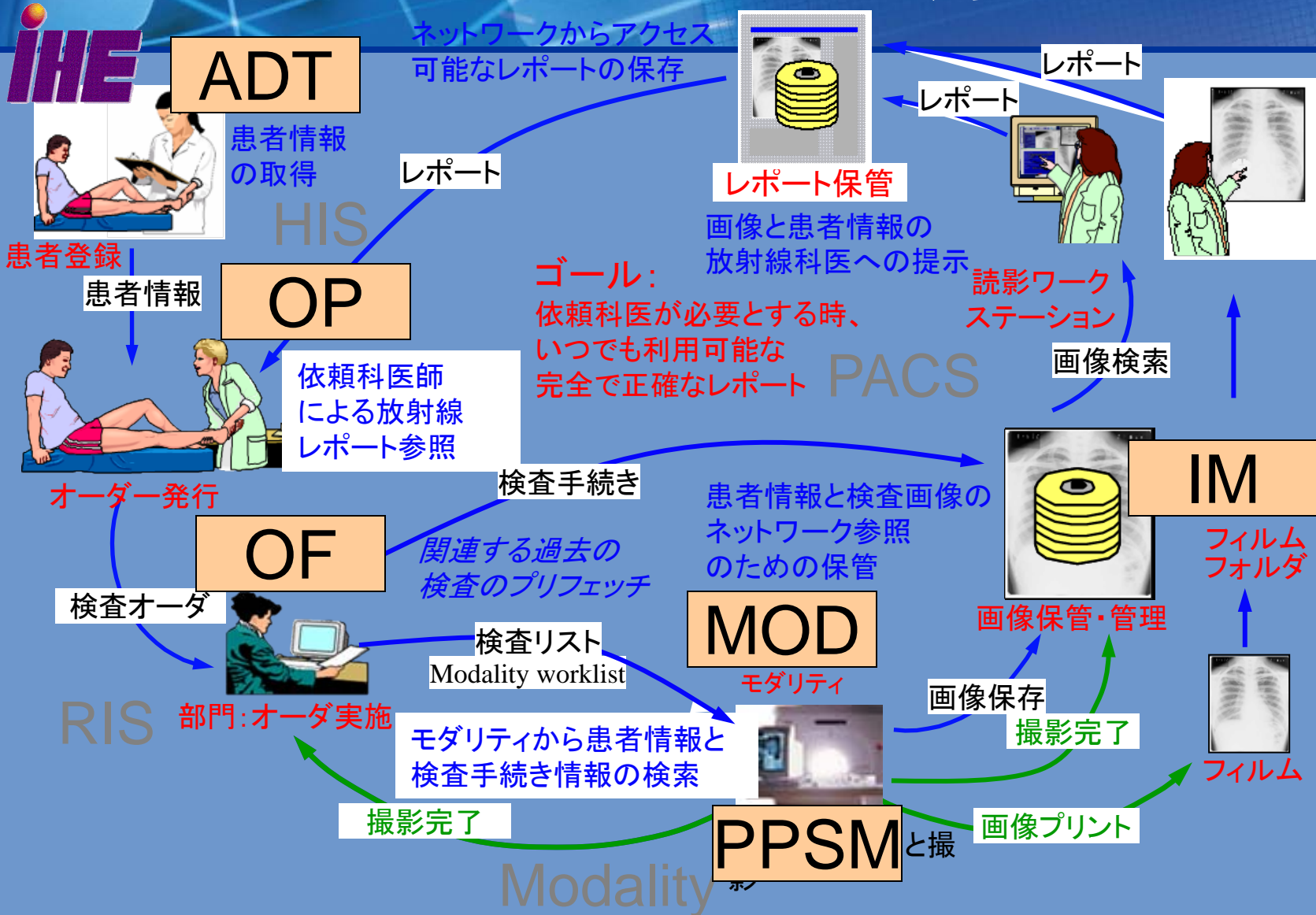
- OF(DSS/OF)

- OPから発行された、放射線検査オーダーを受け、実際に撮影業務を遂行・管理するアクタ
- OP、撮影装置、画像管理システムと連携して、撮影情報やステータスの受け渡しを行う

- MOD

- OFからの指示で実際に撮影を行い、結果画像を発生させるアクタ
- 様々な種類が存在する(一般撮、CT、MRなど)

アクタ概要



アクタ概要3:IMとPPSM

- IM

- 撮影装置で発生した画像を患者情報とともに保存、管理するアクタ
- OFより患者情報、撮影情報を、MODより撮影画像を受信し、融合管理する

- PPSM

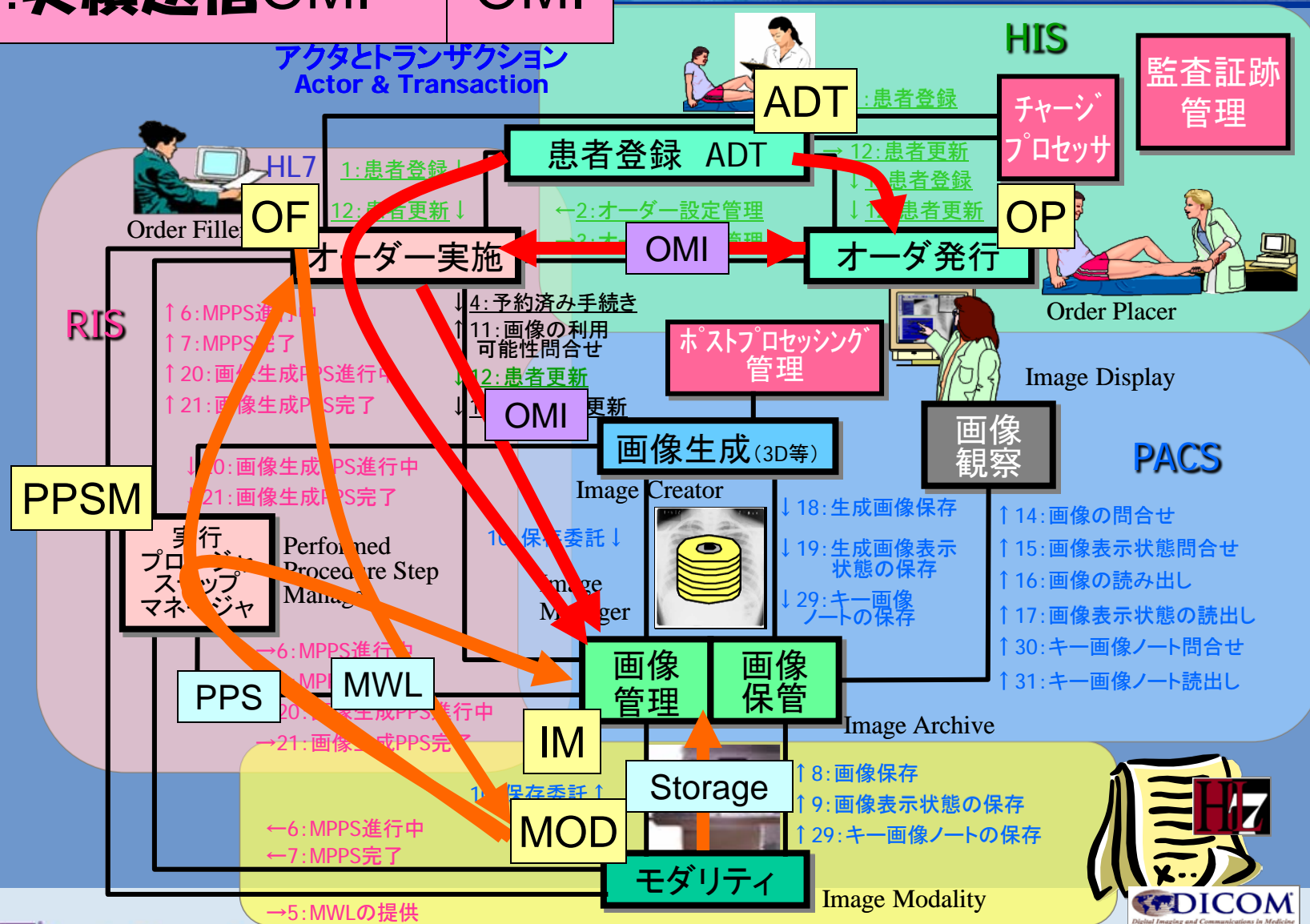
- DICOM通信(PPS)について、各アクタに情報を仲介するアクタ
- 一般的には RIS、PACSの一部機能

トランザクションの全体概要

7.実績送信OMI

OMI

アクタとトランザクション
Actor & Transaction



SWF トランザクションのポイント

- HL7



- ADT^A08 患者情報を連携します⇒PAM へ
- OMG^O19 OP-OF間でオーダ情報を連携します
- OMI^O23 OF-IM間でオーダ情報を連携します
- ORU^R01 OF-OP間でオーダステータス情報を連携します
- OMI^Z23 OF-OP間で実績情報を連携します

※ HL7の通信については **JAHIS 放射線データ交換規約** に従う

- DICOM

- MWL OF-MOD 間で患者情報(撮影情報)を連携します
- PPS MOD-OF-IM 間でプロシージャステップ情報を連携します
- Storage MOD-IM 間で画像情報を連携します

HL7のデータ構造(基本)

- HL7の電文はこんな感じです。

MSH|^~\&|HIS|RIS||20050120||OMG^O19^OMG_O19|mn123|P|2.5||||JPN|ASCII~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>

セグメント

MSH|^~\&|HIS|RIS||20050120||
OMG^O19^OMG_O19|...

成分

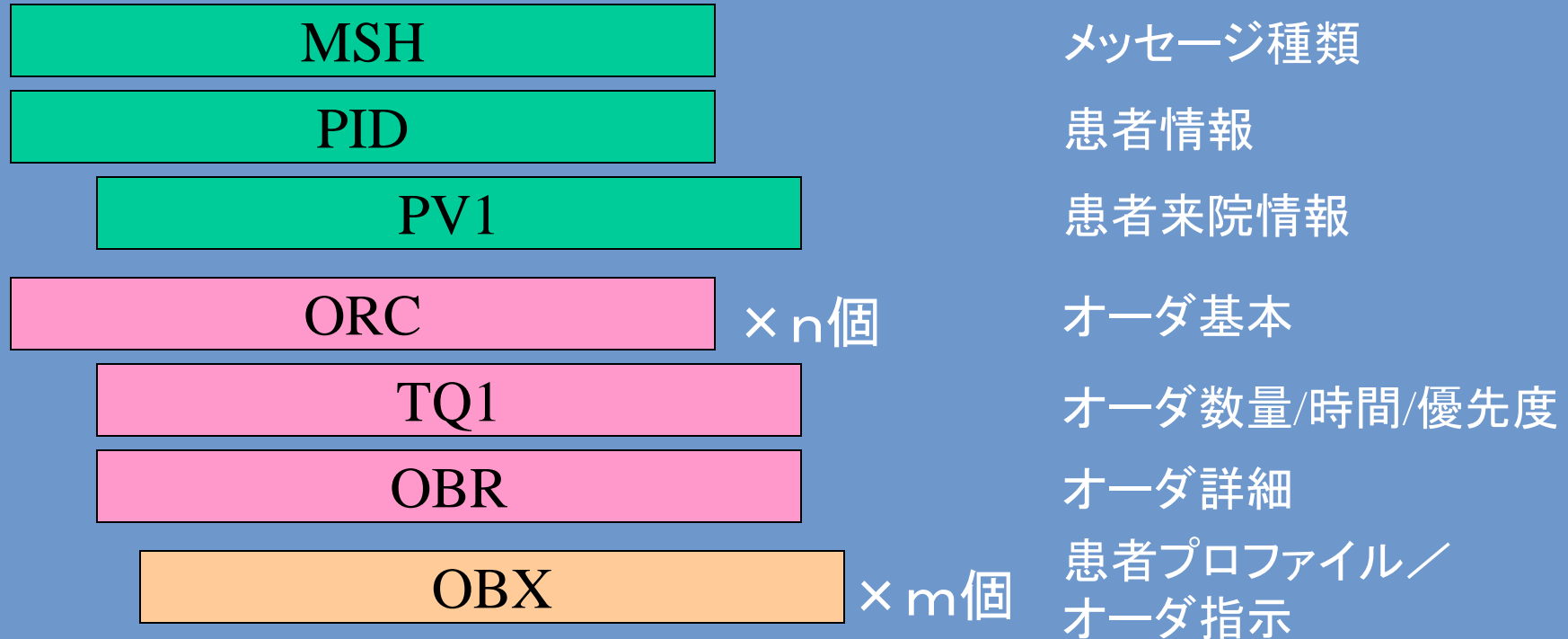
OMG

フィールド

OMG^O19^OMG_O19

HL7のデータ構造(基本)

- HL7はメッセージ種類毎に構造が異なります
- 例えば、OMGであれば、以下の構造です



ここで一息

さて、次は **日本版拡張** の話です。



日本版拡張について

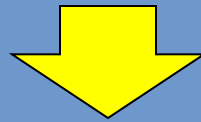
IHEではワールドワイドで共通なTFを提供しています。

でも、各国では、業務運用方法や習慣の違いから、
それぞれのシステム化事情があります...

国別拡張（National Extension）が許されています。

日本版拡張の経緯

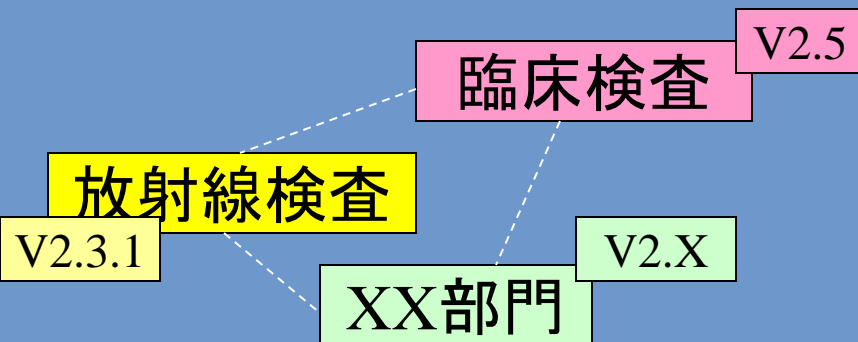
IHEでは臨床検査分野で、**HL7 V2.5**を採用
(先行の放射線検査分野は ~~V2.3.1~~)



V2.5に統一

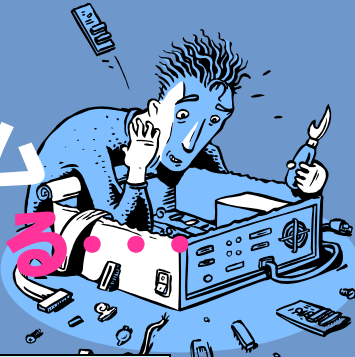
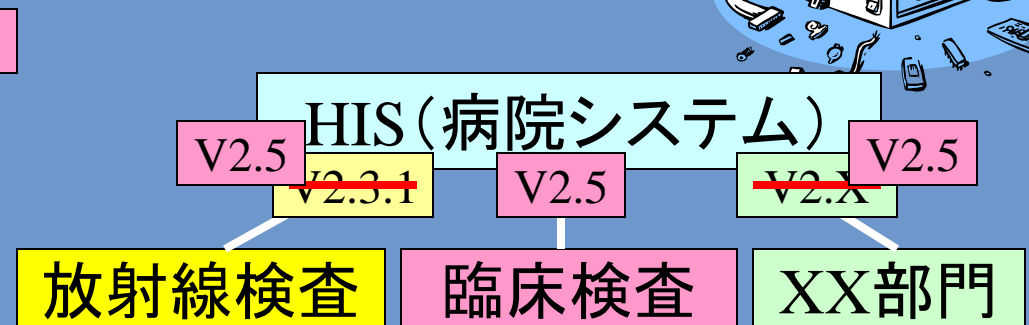
【欧米】

では部門の独立性が高い
→ 問題なし



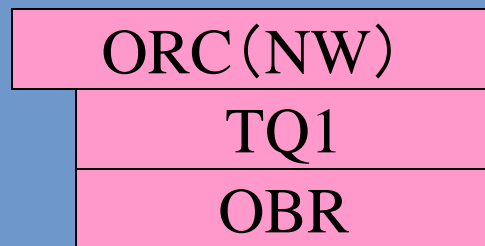
【日本】

トータルシステム
→ 別々では困る...

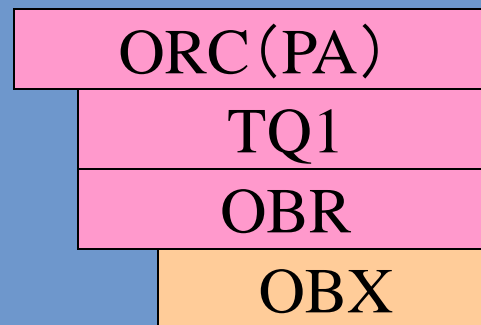


HL7のデータ構造(オーダ表現)

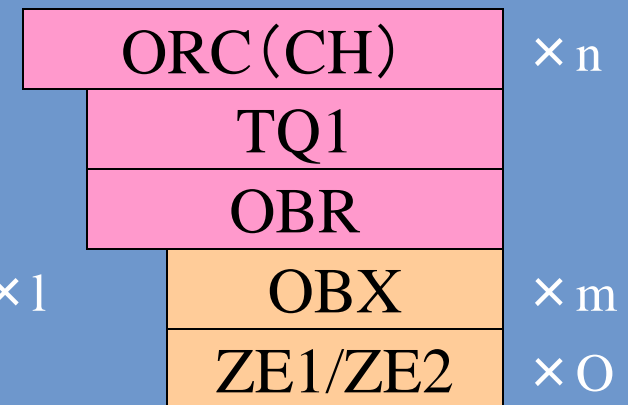
- 日本では、HL7オーダ表現で親子構造を持ちます
- ORC以下の部分は以下の構造になります



このオーダ情報が
新規
であることを示します



このオーダ情報の
手技＝検査種
を示します。



このオーダ情報の
撮影方法と実施
を示します。



IHE 日本版拡張

【補足】

HL7によるデータ交換についてはドメインによっては、**JAHIS データ交換規約**を採用していますので、そちらを参照下さい。

また、日本版拡張については各ドメインの技術文書も併せてご覧下さい。



ールでコネクタソンを実施しています。

コネクタソン審査基準について

最後にコネクタソン **審査基準** の話をします！



コネクタソン審査とは

- 事前ツール審査

- コネクタソン当日に基本的な接続トラブルを防止するため、事前ツール審査を実施します。
- ツール審査結果を参照し、参加ベンダーは当日までに必要な修正を実施して下さい。

- 当日審査

- コネクタソン会場にて実際に他ベンダーと接続試験を実施し、審査員にてトランザクション電文や、実際の操作画面を検証します。

審査基準について

- 審査基準について
 - コネクタソンの審査をより公平公正なものにするため、接続性検証委員会では審査基準の明確化に取り組んでおります。
- 審査基準書の公開について
 - 各プロファイルのトランザクションについて、細かい基準をまとめた資料文書を作成しております。
 - この文書に従い、事前検証ツール、当日の審査員による審査を実施いたします。

おわりに

今日は SWF、日本版拡張の説明をしました。

フロファイルそのものは変更がなかったとしても
細部解釈の微修正や、審査基準の見直し
があるかもしれません。

次回WSでは審査ポイント詳細を説明します。

お楽しみに！





ご質問等ございましたら、
ご遠慮なくおっしゃってください。

WWW.IHE.NET

